

令和7年度 野生動物救護実績について

自然環境保全センター（厚木市七沢）では、県民の皆様によって救護され、運び込まれた傷病鳥獣（傷ついたり弱ったりしている野生の鳥類や哺乳類）を収容して治療し、野生に返す（放鳥、放獣）仕事を行っています。

令和7年度の野生動物救護の実績をお知らせします。

1 令和7年度の鳥類・哺乳類救護状況

区分	種類	数（頭、羽）	数の割合
鳥類	43	318	93.8%
哺乳類	5	21	6.2%
合計	48	339	100.0%

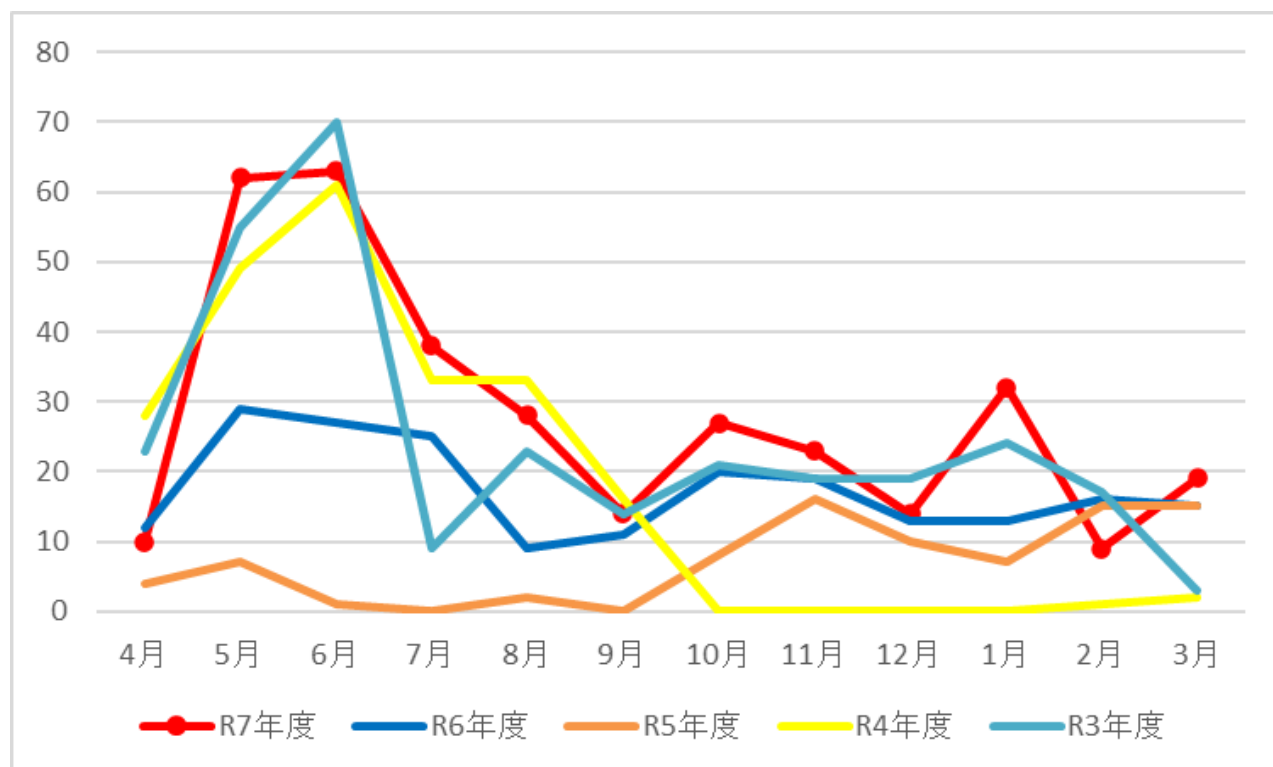
参考（過去5カ年の救護状況）

(1) 年度別救護数

年度別	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
鳥類	318	(6)	199	(12)	68	(6)	208	(7)	270	(9)
哺乳類	21	(0)	10	(0)	17	(0)	15	(0)	27	(1)
計	339	(6)	209	(12)	85	(6)	223	(7)	297	(10)

* () はへい死体で持ち込まれたもので、内数

(2) 月別救護点数



(3) 救護数上位 10 種

年度別	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽
1	スズメ	64	スズメ	27	タヌキ	15	ツバメ	46	スズメ	46
2	キジバト	36	キジバト	26	メジロ	8	スズメ	37	キジバト	35
3	ツバメ	35	ツバメ	18	キジバト	7	キジバト	22	メジロ	18
4	ムクドリ	32	ヒヨドリ	14	ヒヨドリ	7	ムクドリ	13	ムクドリ	18
5	イソヒヨドリ	21	イソヒヨドリ	11	イソヒヨドリ	6	タヌキ	11	シジュウカラ	16
6	ヒヨドリ	18	ハクセキレイ	11	スズメ	5	シジュウカラ	10	ツバメ	16
7	メジロ	13	シジュウカラ	10	シジュウカラ	3	メジロ	9	ヒヨドリ	16
8	タヌキ	13	メジロ	9	カンムリカイツブリ	2	トビ	8	タヌキ	16
9	シジュウカラ	12	ムクドリ	8	コアホウドリ	2	ハクセキレイ	8	イソヒヨドリ	11
10	ハクセキレイ	9	タヌキ	8	フルマカモメ	2	ヒヨドリ	6	カルガモ	9
					フクロウ	2				
					ウグイス	2				
					シロハラ	2				
					ツグミ	2				
					ムササビ	2				

(4) 放野率・死亡率 (%)

	令和7年度			令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他
鳥類	39.4	54.2	6.4	43.3	51.3	5.3	35.5	46.8	17.7	39.8	60.2	0.0	32.2	59.0	8.8
哺乳類	38.1	57.1	4.8	30.0	60.0	10.0	47.1	41.2	11.8	13.3	80.0	6.7	23.1	57.7	19.2
全体	39.3	54.4	6.3	42.2	51.3	6.5	38.0	45.6	16.5	38.0	61.6	0.5	31.4	58.9	9.8

*各年度の3月31日時点（へい死体除く）

*その他は治療中・終生飼養・長期飼養に移管したものなどを含む。

2 令和7年度の特徴

全体の救護原因の内、建物への衝突などといった、主に人間が関わっている救護原因は 50.7% です。

- * 前年度～2025年6月20日までと2025年10月21日～ 横浜市立動物園は高病原性鳥インフルエンザ対策により鳥類の受入れを休止。
- ** 前年度～2025年6月4日まで横浜市立野毛山動物園にて獣類の受入れを休止。
- *** 前年度～2025年6月4日までと2025年10月27日～ 川崎市立夢見ヶ崎動物公園は高病原性鳥インフルエンザ対策により鳥類の受入れを休止。
- **** 2026年2月6日～24日、神奈川県自然環境保全センターで受け入れ許容量の関係で鳥類、獣類の受入れを休止。

(鳥類)

- ・保護された鳥類の内、スズメ・キジバト・ツバメなど人間の近くで繁殖・生活している種類が上位を占めています。
- ・保護された鳥類の内、粘着剤の保護件数が多いです。

(哺乳類)

- ・保護された哺乳類の内、タヌキの疥癬症の件数が多いです。
- ・令和7年10月にカヤネズミの幼獣が保護されました。

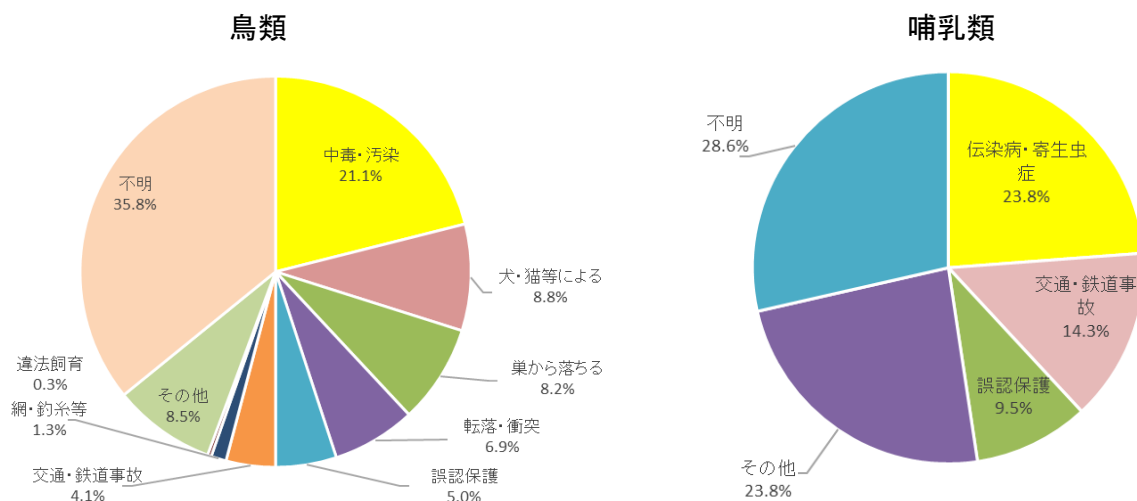


イソヒヨドリ (粘着剤)



カヤネズミ

参考 (令和7年度の保護原因)



3 ボランティアの活動

- ・当センターには野生動物の飼養や治療・リハビリの補助、環境教育や普及啓発活動等を行っている多くの野生動物救護ボランティアの方々がいらっしゃいます。
- ・野生動物救護ボランティアには動物エリアボランティア（注 1）、一般ボランティア（注 2）、短期飼養ボランティア（注 3）および長期飼養ボランティア（注 4）があります。令和 7 年度の一般ボランティア及び動物エリアボランティアの活動人数は年間延べ 398 人で、毎年多くの方々にご参加いただいています。また、長期飼養ボランティアに新たに飼養を依頼した野生動物の数は 7 件になります。

注 1 動物エリアボランティア

当センターの傷病鳥獣の保護治療エリア（以下動物エリア）内に入り、保護されている鳥獣のお世話を行っていただいております。

注 2 一般ボランティア

救護動物特別公開などの普及啓発活動や、動物エリア外での作業を行っていただいております。

（令和 7 年度より一般ボランティアと動物エリアボランティアに分類させていただきました。）

注 3 短期飼養ボランティア

主に、毎年 5 月から 8 月くらいまでの間、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリなど主に巣立ち前の野鳥のヒナ等のお世話やすぐに放鳥・放獣できない動物のリハビリ訓練などを行っていただいております。

注 4 長期飼養ボランティア

翼が折れているなどの理由により野生に返せない鳥獣を、生涯にわたり飼養を行っていただいております。

参考（過去 5 年間のボランティア活動状況）

(1) ボランティア登録状況

(人)

年度別	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
ボランティア登録数	66	99	107	129	132

*ボランティア登録数は、各年度の 3 月 31 日現在

(2) 一般ボランティア及び動物エリアボランティアの年度別活動状況

(延べ人数)

年度別	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
活動延べ人数	398	256	153	340	633

(3) ボランティアへの飼養依頼

(件)

年度別		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
鳥類	短期	0	0	0	0	1
	長期	7	0	0	0	0
哺乳類	短期	0	0	0	0	0
	長期	0	0	0	0	0
合計	短期	0	0	0	1	1
	長期	0	0	0	0	1
総計		7	0	0	1	1

*各年度新たに依頼した分のみ掲載